

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 41
2006 秋

湖国での新たなスタート ~マイヤー暫定新所長からのご挨拶~

Dennis Meier

Interim Director of Japan Center for Michigan Universities

My name is Dennis Meier, and I am the interim director at JCMU this fall. A search for the permanent director is currently being completed by the board of director of JCMU. The plan is for that person to start in January of next year.

While this is my first stay at JCMU, I have visited the campus twice before. I have serviced as the faculty director for Lansing Community College's Japan Adventure Program in Otsu. The two positions have very much in common, for example, in both programs I was and the administrator and teacher to a large group of students.

In addition to my stays in Shiga, three of my four children have lived in Shiga for at least a year each. My youngest daughter served as a JET for three years in the Otsu school system. As a result, my family and I are very familiar with Shiga and the beauty surround Lake Biwa in the fall.

My role this fall has been to help get the fall semester off to a good start. What I have found here is that JCMU is very fortunate in having a very experienced and professional staff working here in campus. They have taken the leadership in getting us up and running, and in so doing have made my job much easier.

We are starting fall semester with forty-nine students from the United States on campus. While most of our students came from Michigan, we also have student from other parts of the United States. With forty-nine students, our class rooms and dormitory will be close to capacity. In addition to our students studying the Japanese language, they will have an opportunity to take additional classes in Japanese business, culture, religion, and politics. Our students are also being given an opportunity to experience a home stay and internship in the area.

Our English language programs are also getting started this fall with a great deal of excitement and enthusiasm. We started with a one week intensive English language program for Maibara High School students. We will continue to explore opportunities to study English at our JCMU and our satellite office in Otsu.

I believe our fall semester has gotten off to a great start and I look forward to having a successful fall.



マイヤー暫定新所長

デニス・マイヤー
ミシガン州立大学連合日本センター暫定所長

この秋学期、暫定所長を務めさせていただきますデニス・マイヤーと申します。正規の新所長の人選がJCMUの役員により行われており、年明けには正規の所長が就任予定です。

今回JCMUで初めての滞在となりますが、以前、ランシング・コミュニティ・カレッジによる大津市でのジャパン・アドベンチャー・プログラムの責任教官をしており、過去に二度、JCMUを訪問したことがあります。この2つのプログラムには、多くの学生が参加することなど、質的な面で多くの共通点があります。

私自身の滋賀県での滞在に加え、私の4人の子どものうち3人が、いずれも一年以上滋賀県に住んだ経験を持っています。一番下の娘は、JETプログラムの教員として3年間大津市の学校で子どもたちを教えており、私の家族はみな、滋賀県と琵琶湖をとりまく美しい秋の景色にたいへん馴染みがあります。

この秋、私の役割は、JCMUの秋学期が順調なスタートを切れるようにすることです。こちらに来て気付いたことは、たいへん幸いなことに、JCMUは経験豊富なスタッフに恵まれているということです。彼らは、JCMUの運営にリーダーシップを発揮しており、そのおかげで、私の仕事もたいへん進めやすくなっています。

私たちは、この秋学期を米国から来た49名の学生とともにスタートしました。その学生たちの多くがミシガン州の出身です。学生の数が多いため、教室や寮は賑やかになりそうです。学生たちは日本語の他に、日本のビジネス、文化、宗教、政治に関する選択科目を受講でき、さらにホームステイやインターンシップの機会を与えられています。

英語プログラムについても、熱意に満ちた秋学期が始まりました。最初は、米原高校生のための一週間の集中コースでした。私たちは今後も、このJCMUにおいて、また大津クラスにおいて、プログラムの発展を目指していきます。

この秋学期がよいスタートを切り、実り多い秋になることを楽しみにしております。

特

集

卒業生からのメッセージ

JCMU で学んだ卒業生は、日本やアメリカだけでなく、世界のさまざまな場所で活躍しています。今回は、日本語プログラムの卒業生ヘザー・バウトさんと、英語プログラム卒業生の杉山優太さんからのメッセージを紹介します。

*** ヘザー・バウト(旧姓シャフナー)さん <1995年 日本語プログラム受講生> ***

Take advantage of it! — 今を大切に —

JCMUでの思い出は？

大学3回生の時に来日し、約一年間 JCMU で学びました。一番の思い出はホームステイでお世話になった家族との思い出です。ホストマザーのことは今でも日本のお母さんのように大切に思っています。また、日本人の友達と日本各地のいろいろな名所を旅行したことも、本当に楽しかったです。



ヘザーさん(左)とご家族

JCMUに来て、自分自身がどのように変わりましたか？

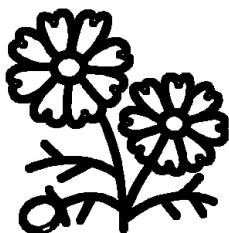
JCMU に来る前は、日本は遥か遠い国だ感じていましたが、一年間住んでみると日本が身近な国となり、不思議なことに世界全体さえもとても小さく感じられるようになりました。また、日本の人々との交流を通して、姿や外見は違っても共通することがたくさんあることを知りました。人種や国籍の違いを超えて、内面的なことは私が思っていたよりもみんな同じなのだということに気づいたことで、自分自身も大きく変わったように思います。

大学を卒業後、どんなことをしましたか？

2003年に長野で冬季オリンピックが開催された時には、JCMU で学んだ日本語を生かして CBS テレビ(アメリカの三大テレビネットワークの一つ)の現地レポーターとして来日しました。その後も、インターネット関連の仕事に就き、東京を拠点に働いていたので、合わせて約6年間は主に日本語を使って仕事をしていたことになります。

現在、どんなことをしていますか？

今は、子育てと仕事を両立しながら、忙しく充実した毎日を送っています。今回は、夫の友人の結婚式に出席するために約一週間日本に滞在する機会があり、JCMU にも立ち寄りしました。以前からずっと、夫や娘と一緒に彦根を訪れたいと思っていたので、ようやくその夢が叶いました。彦根の街の様子も、JCMU の雰囲気や匂いも、当時とあまり変わっていませんね。とてもなつかしく思います。



JCMUで学んでいる学生にメッセージを一言

留学生のみなさんには、せっかく日本にいるのだから、日本でしかできないことをたくさん体験して欲しいです。日本人の友達をたくさん作って、一緒に色々なことに挑戦してみてください。これからも JCMU という素晴らしい場所が生かされ、ますます日本とアメリカの交流が深まるといいなと思います。

*** 杉山優太さん <2006年春 英語プログラム受講生> ***

かけがえのないJCMUでの体験

3ヶ月間お世話になり、本当にありがとうございました。僕がJCMUで得たものは、英語に対する自信だけではありません。数々の貴重な体験、そしてかけがえのない友達です。留学生と一緒に過ごした寮生活では、外国語を学ぶもの同士、自分の考えを伝え、互いに認め合い、自国について相手に教えることを通して、数多くの発見がありました。また、丁寧に指導して下さった教官や、オフィスの方々のおかげで、とても充実した寮生活を過ごすことができました。JCMU



杉山さん(右)

で学んだことや、ここでし

か味わうことのできなかつたかけがえのない体験は、間違いなく僕の今後の人生の糧となることでしょう。留学先でも、ここでの経験を生かして、精一杯学び、楽しみたいと思います。

JCMU で出会ったすべての人々に感謝の気持ちをこめて。

杉山さんは、JCMUでの受講を終了後、ミシガン州の大学で留学生生活を始められました。留学を終えたら、またJCMUに元気な顔を見せて来てくださいね！



留学生とのパーティーの様子

ホームステイの思い出 ~修了式のスピーチより~ Kristen Barrett さん

日本に来てから、色々なことを経験しました。でも、私の一番大切な経験はホームステイです。それは日本人の両親がすごく素晴らしい思い出を下さったからです。ホストファミリーの両親に会う前は、何を考えているかわかりませんでした。でも、私の両親に会った時の第一印象は、本当に親切な人だということでした。だから、私はもう心配しませんでした。三週間、毎日日本語で話をしました。両親は英語に興味があったから、晩ごはんの時に、私は少し英語を教えてあげました。それから、2人は私に色々な日本のことを教えてくれました。だから少しずつ私たちは色々なことをお互いに教え合って仲がよくなりました。両親は親切だし、親しみやすいお宅だし、いい感じだし、私はホームステイが気に入りました。日本で色々な所に行ったけど、私の一番好きな思い出は、たしかに間違いなく、その晩ごはんの時のおしゃべりです。

ホームステイをして、ほんとうに良かったです。私の日本語は上手になったし、それに素晴らしい人たちと新しい友達になりました。それから、ホームステイの事を考える時、私は感動します。私たちはお互いに教え合い、一緒におなかが痛くなるまで笑いました。将来、私が日本に戻ってきた時、ホストファミリーは、いつもきっと待っています。みなさんどうもありがとうございました。(原文通り)



《冬季英語プログラムご案内》

開講期間 2007年1月9日(火)~3月23日(金)

英語集中コース 月~金 10:00~12:00 13:10~15:10
 留学・進学・転職・自己啓発のための英語総合力アップを図るコースです。午前中のみ受講できるモーニングコースもあります。

* アメリカからの留学生向け付属寮にルームメイトとして入寮できます。

スキル・テーマ別コース 週1~2回 10:00~12:00 13:10~15:10
 あなたの目的・時間にあわせて、「スピーキング・リスニング」、「アメリカ・オン・ビデオ」、「総合英語」等の実力アップを図るためのコースがあります。

夜間コース 月・木 週2回 19:00~20:30
 実用英会話ブラッシュアップのための夜間コースです。
 申込締切 2006年12月13日(水)

詳しくは、ミシガン州立大学連合日本センター
 TEL 0749-26-3400までお問い合わせください。

ホームページも、ご利用ください。
 < <http://www.jcmu.net> >

《厘は長さの単位、ではセンチは・・・》

メートル度量衡法の漢字は偏と旁の組み合わせで大変わかりやすく作られている。偏は度量衡の「米(メートル)・立(リットル)・瓦(グラム)」を、旁は10の乗数の接頭語「千・百・十・分・厘・毛」を用いる。千はキロ(kilo) 百はヘクト(hecto) 十はデカ(deca) 分は10分の1でデシ(dec) 厘は100分の1でセンチ(centi) 毛は1000分の1でミリ(milli)である。度では、粁(キロメートル) 糎(ヘクトメートル) 秊(デカメートル) 米(メートル) 糎(デシメートル) 糎(センチメートル) 糎(ミリメートル) 量では、𠂔(キロリットル) 立(リットル) 𠂔(デシリットル) 𠂔(ミリリットル) 衡では、𠂔(キログラム) 瓦(グラム) 𠂔(ミリグラム) などがある。度量衡法制定(明治24年)当時の制度の施行、普及にかける意気込みが感じられて興味深い。

一、十、百、千、万より大きい桁は、それらの繰り返しに億、兆、京、垓・・・と4桁ごとに名を付けて表すが、計量法で用いる10の乗数の接頭語は、3桁ごとに名が付けられている。和名に親しんでいる日本人にとってわかり辛い。小さい数の和名は4桁ごとに繰り返すのではないが、接頭語は3桁ごとに名が付けられていて一貫性がある。

厘は前述のように米と厘の会意文字であり、訓読みはセンチメートル、意味は1メートルの100分の1である。計量法の単位メートルを含む長さの単位である。ところが、センチは、10の乗数接頭語の 10^{-2} であり、何の物の量かまでは表していない。頑なな言い方をすれば10の位を表しているに過ぎず、決して長さなどを表しているのではない。センチグラムやセンチリットルの計量表示方法があるが、これらは通用していないので、センチは単位が欠落していても1メートルの100分の1として通じているのである。

メートル法の統一推進が図られているが、インチが今も実質使用されている。テレビ画面の対角線の長さをインチ単位で測り、計量法でインチの使用ができないから「型」を用い、32型と表示している。自転車の車輪サイズも「型」で表示している。コンピュータの規格、半導体の設計もインチが基準になっていることが多い。一例を挙げれば、ハードディスクの規格やインチサイズのネジ使用、解像度のdpi(dot per inch)などがある。

計量制度のメートル法統一推進によって、アメリカで発明されたコンピュータが普及した影響は大きい。(川合國夫)

大津コースのご案内

開講期間:2006年1月10日(水)~3月14日(水)

大津マルチスキルコース

毎週水曜日 14:00~16:00

大津夜間コース

毎週水曜日 19:00~20:30

場所:ピアザ淡海(大津市におの浜一丁目
 [びわ湖ホール東隣])

申込締切:2006年12月19日(火)

2006年度 行事予定

10/20 金 ハロウィンパーティー

11/17 金 第53回公開講座

12/1 金 第54回公開講座

1/9 火 英語プログラム(冬季)開講

長期ホストファミリー募集

ミシガン州立大学連合日本センターでは、アメリカ・ミシガン州を中心に、全米の大学から来日している留学生のホストファミリーを随時募集しています。留学生たちは、日本語、日本文化に興味をもっており、日本の家庭で生活しながら、皆様とふれあう機会を求めています。ひとりでも多くの留学生がホームステイの体験ができるようご協力いただければ幸いです。

当センターまでの通学所要時間が、1時間程度の範囲のご家庭であること、などの条件がございます。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

Snapshots



英語集中コースの最後に美しいハーモニーを聞かせてくださった米原高校の皆さん

ミシガン州立大学連合 日本センター

〒522-0002
 滋賀県彦根市松原町網代口1435 86
 TEL 0749 26 3400 FAX 0749 24 9356
<http://www.jcmu.net>
 編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所